

例 祭

平成二十三年八月二十一日 午前九時齋行

式次第

先づ手水の儀あり

時刻宮司祭員献幣使役員総代及び氏子崇敬者社務所前に列立す

次に対揖、畢りて宮司献幣使以下諸員参進

此間奏樂

次に宮司献幣使以下諸員国旗掲揚塔前に著く

次に諸員全員にて国歌を斉唱し国旗を掲揚す

二小節前奏後斉唱

次に宮司献幣使以下諸員参進

此間奏樂

次に宮司献幣使以下諸員摂社拜殿に著く

典儀 石原

次に修祓

其の儀、祓主祓詞を白す

祓主 橋本

次に所役大麻・塩湯を執りて、宮司・祭員、献幣使・同随員、

大麻所役 安達

役員総代及び氏子崇敬者の順に祓ふ

塩湯所役 隅川

次に宮司玉串を奉りて拝礼

諸員自座列拜

次に宮司献幣使以下諸員参進

此間奏樂

次に宮司献幣使以下諸員本社拜殿の所定の座に著く

前導二 隅川 (献幣使)

次に宮司一拝

諸員之に倣ふ

次に宮司本殿の御扉を開き 畢りて側に候す

此間奏樂 警蹕諸員平伏

警蹕所役 橋本

次に祭員神饌を供す

此間奏樂

陪膳 橋本

其の儀 陪膳は本殿案前に 膳部は神饌所に 手長は各其の位置に著き

陪膳 橋本

懐笏して候する 次に順次神饌を供し 畢りて下位の者より本座に復する

手長一 安達

次に宮司祝詞を奏す

此間諸員馨折

手長三 隅川

次に本庁幣を献す

祝詞後取 平岡

其の儀 副齋主は本座を起ち、随員より本庁幣を受け、

祝詞後取 土岐

昇階して案上に献つた後、本座に復する

次に献幣使祭詞を奏す

薦後取 隅川

次に神楽人長舞を奏す

玉串後取 平岡

次に宮司玉串を奉りて拝礼

玉串後取 土岐

其の儀 先づ後取は所定の位置に薦を敷き案を設く

薦後取 隅川

次に後取は宮司に玉串を進む

玉串後取 隅川

次に献幣使玉串を奉りて拝礼

案後取 安達

次に役員総代氏子崇敬者玉串を奉りて拝礼

玉串後取 隅川

玉串拝礼畢りて 後取は玉串案并薦を撤す

案後取 安達

次に本庁幣を撤す

撤幣所役 橋本

次に神饌を撤す

陪膳 橋本

次に宮司一拝

此間奏樂 諸員之に倣ふ

次に宮司一拝

此間奏樂

次に宮司献幣使以下諸員退下

太鼓所役 石原

献幣使及び同随員は社務所に著く

前導一 安達

宮司祭員役員総代及び氏子崇敬者は神門前に著く

前導二 隅川

次に宮司以下諸員は列次をなして鳥居まで渡御す

此間奏樂

畢りて諸員社務所に著く

次に社務所にて直会

献幣使 神社庁副庁長

市川 緋佐麿

同随員 神社庁主事

土岐 淳

齋主 宮司

飯塚 充

副齋主 権禰宜

橋本 孝太郎

祭員 権禰宜

石原 誠人

祭員 権禰宜

安達 大輔

祭員 権禰宜

隅川 由紀恵

助祭員 杉山神社禰宜

平岡 好晃

伶人・笙 皐月雅楽会

白石 賢一

伶人・箏 皐月雅楽会

高桑 賢治

伶人・篳篥 皐月雅楽会

山村 康夫

伶人・龍笛 皐月雅楽会

越後 眞美

舞人 皐月雅楽会

(敬称略)